

背景と動機

社会的課題に対して、数理技術（数理最適化、ゲーム理論 etc.）を用いて公平で納得度の高い制度や施策を設計したい。

現状

産業界等と共同研究を行い、複数の社会的課題に対して、それを解決するための**数理技術の開発**を行い、**社会実装を実現**した。

設定と記号・ 研究紹介

＜主な成果＞（共同研究）

★きょうだいの同所希望を考慮した保育所の公平な利用調整

100を超える自治体が導入済み（2025年9月時点）

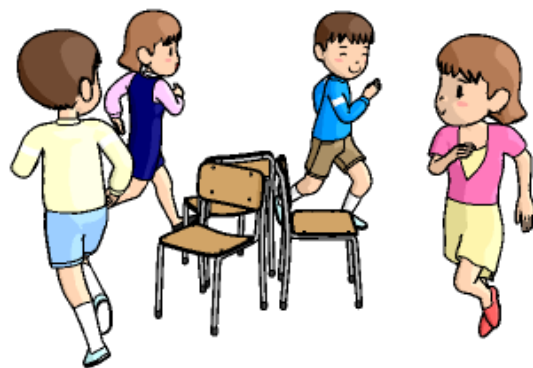
★共同輸送マッチングサービス TranOpt のコアエンジンを開発

約330社の企業がユーザーとして利用（2026年6月時点）

★パレットのシェアリングシステム（物流インフラ）の最適化

約3,300法人、約60,000拠点で利用（2018年当時）されるシステムの効率化に貢献

第1希望：○○園
第2希望：□□園



第3希望でもよい
から**弟と同じ園**に



展開

限られた財・サービスを効率よくかつ公平に利用できる、**真のスマート社会**の実現に向けて、学術の面から貢献する。